挨拶

「あいさつ・声かけ運動」取組の状況は

「私の視点」

「おはよう」は、朝の合言葉。恥ずかしがらずに呼びかければ、一日がすばらしく良い日に思える。朝の挨拶は、気持ちよく発信するようお願いしたい。

答弁（教育長） 各方面と連携し、引き続き啓発に取り組みたい

問 町は、「あいさつ・声かけ運動」を提唱しているが、実際はどのくらい実施されているのか。朝の挨拶は、気持ちよく発信するようお願いしたいと考えるがどうか。

答（教育長）朝の挨拶は単なる形式的な言葉の発露ではなく、周囲との人間関係づくりや、前向きな一日のスタートのためにも、とても大切なものであると考える。

玉村町では、元気に挨拶することのすばらしさや気持ちよさを、子供たちのみならず、多くの町民の皆様感じていただけるよう、「あいさつ・声かけ運動」の取組を進めている。具体的な取組として、あいさつ・声かけポスターの募集や掲示、各小・中学校においても、児童会や生徒会が中心となり、様々な「あいさつ運動」

が行われている。挨拶と笑顔であふれる玉村町となるよう、各方面と連携しながら、引き続き啓発に取り組んでいきたい。

道の駅玉村宿の南側約3.9ヘクタールの整備計画

問 既に関越自動車道の西側では、高崎市が大規模集客施設の構想を打ち出しているが、道の駅玉村宿の南側約3.9ヘクタールの整備計画について、町はどのようなことを考えているのか。

答（町長）都市公園法におけるPark-PFI制度を活用した観光交流拠点公園の整備可能性を検討してきたが、高崎市の大規模集客施設の構想が打ち出されたことにより、施設の差別化を図る必要があることや、限られた予算の中で、最大限の効果を発揮できるような計画にする必要がある。現在、高崎市の動向を注視しながら、参画を希望する事業者とも情報交換を行い、Park-PFI制度以外の手法による整備の可能性を含めた再検討を行っている状況である。今後、再検討を行っていく中で、必要に応じて様々な意見を取り入れながら進めていきたいと考えている。

こんな質問もしています

・国道354号バイパスと藤岡大胡線との交差点は立体化にはならないのか

町は「あいさつ・声かけ運動」を推進。前向きな一日のスタートのためにも、気持ちよく発信したい。

町役場入り口

環境

地域猫の公共性を示し苦情・トラブルの軽減を

「私の視点」

野良猫問題を愛護の視点だけでなく「地域の課題」と捉え直し、TNR*で個体数を減らし、一代限りの命として、地域全体の共生を目指す地域猫活動を進められないか。

答弁（環境安全課長）住民に喜んでもらえる形になるよう地域猫活動を周知したい

問 野良猫問題への対応は。

答（町長）野良猫の繁殖力は高く、環境や猫自身のことを考えても対応が必要。約4年前に無料不妊手術チケット導入を検討したが、獣医師会との関係でなかなか進まなかった。今後体制を整えつつ進めたい。

問 住民からの苦情の内容と、町の対応は。

答（環境安全課長）ふん害やごみステーション荒らしが主。飼い主にマナーの啓発を行っている。

問 空腹な野良猫が原因ではないか。練馬区では環境省指針に基づき、給餌や排泄物処理のルールを広報紙等で周知し、無責任な餌やりが減少した。町でも地域猫活動の意義を周知する考えはないか。

答（環境安全課長）マナー啓発の看板設置や、広報紙・電子媒体で地域猫活動の啓発を進める。

問 町で地域猫活動についての勉強会を開催し、

ボランティア育成を進める考えはあるか。

答（環境安全課長）他自治体の勉強会への参加を検討。ボランティア団体が町内で勉強会を開催する場合には、住民に周知をする。

問 TNRやトイレ設置など正しい管理をしているボランティアも、住民の誤解により困っている。行政は正しく活動するボランティアの公共性を示し、住民理解を深める考えはないか。

答（環境安全課長）ボランティア活動を住民に理解してもらい、喜ばれる形を目指す。自治体として発信に努める。

*TNR：野良猫を捕獲し、避妊・去勢手術を行い、元の場所に戻すこと。

公益財団法人どうぶつ基金HP

緊急防犯対策機器設置事業補助金の周知

問 緊急防犯対策機器設置事業補助金の案内がデジタル媒体のみによる周知不足や、補助金早期終了の不満。また凶悪事件への不安もある。町独自の補助金はないか。

答（環境安全課長）伊勢崎の強盗事件を受け、デジタル媒体で迅速に周知した。今後は紙媒体も活用する。補助金については、今年度は、活用できる交付金があれば事業を実施したい。不審者には警察と連携しパトロール強化を依頼する。

こんな質問もしています

・5歳児検診の導入における課題と対応について

様々な立場の方がいる中でも、野良猫を巡ってのトラブルのない地域社会が実現している。

次のページは 松本議員 三友議員 一般質問